

日本はいつ地震が起こるのかわからないので家を建てる時、借りる時には考える必要があります

## 家を建てる前に

家を建てるためには地盤の強い土地を見極める地盤調査、ハザードマップ、現地を必ず確認

### <建てる時の注意点>

強い土地：岩盤や砂や小石などの砂礫を多く含んでいる**引き締まった土地**

弱い土地：沼や池などを埋め立てた**水分が多い土地**  
→家が傾く現象の「**不同沈下**」が起こる

古地図を  
確認！

### <借りる時の注意点>

建築基準法は1981年6月1日に大幅な改正が行われたため、それ以前に建てられた建物は危険！

#### 新耐震基準

震度6強から7に達する大規模地震でも倒壊・崩壊しないこと、震度5強程度の中規模地震ではほとんど損傷しないことが定められている

#### 旧耐震基準

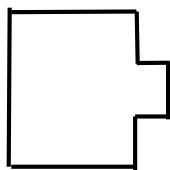
中規模地震に関して倒壊しないことが定められているが、大規模地震に対する基準は設けていない

耐震基準の判断日

建物完成日× 建築確認日○

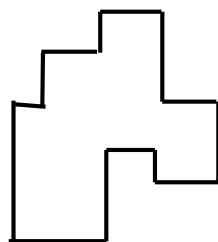
### 地震に強い家

- ・ 正方形、長方形の間取り、シンプルな形
- ・ 耐力壁がバランスよく配置された間取り
- ・ 高さが低い



### 地震に弱い家

- ・ 複雑な形の家で凸凹が多い  
→地震の強い力を均等に分散できず、力が一か所に集まり建物に負荷がかかる
- ・ 上に建物があるのに真下に柱や壁がない



まとめ

家を建てる時や借りる時は上記の注意点到気を付けよう！

